

## 作業療法 第42巻 第1号 (通巻232号) 目次

### ◆巻頭言

[作業療法への好奇心](#) . . . . . 山根 伸吾 1

### ◆学術部報告

[第56回日本作業療法学会の最優秀演題賞・優秀演題賞の表彰](#) . . . . . 学会運営委員会 3

### ◆第56回日本作業療法学会学会長講演

[個人の幸せの追求は持続可能な社会を創る](#) . . . . . 村田 和香 6

### ◆第56回日本作業療法学会基調講演

[はじまりのアート, その理論と実践](#) . . . . . 郡司 ペギオ幸夫 11

### ◆原著論文

[実車評価で運転適性ありと判断した脳卒中・脳外傷者の運転再開後の事故や違反の有無は運転時間の影響を受ける](#) . . . . . 寺尾 貴子・他 16

[終末期がん患者の在宅復帰に影響する予測因子](#)

—リハビリテーションを実施した患者に対する後方視的観察研究—  
. . . . . 藤井 洋有・他 26

[精神障害者に対する入院早期からの作業療法介入の現状と課題](#)

—日本における事例報告および介入研究のスコーピングレビュー—  
. . . . . 佐々木 剛・他 34

[本邦における救命救急・集中治療領域での作業療法実践](#)

—スコーピングレビュー— . . . . . 駒場 一貴・他 43

[自閉スペクトラム症児における他者評定の相違](#)

—保護者と支援者間の比較— . . . . . 小手川 耕平・他 52

[大腿骨近位部骨折術後患者における夜間の排泄関連動作再獲得の関連要因](#)

. . . . . 穴田 麻紀・他 60

[作業療法士のための新しいEvidence-Based Practice 自己評価尺度 \(EBPSA\) の開発](#)

. . . . . 増田 雄亮・他 68

[高齢者を対象とした住宅改修における作業療法士の経験に関する現象学的研究](#)

. . . . . 田中 葵・他 80

### ◆実践報告

[有痛性手関節拘縮に対して新しい人工筋型動的牽引スプリントを試みた関節リウマチの1例](#) . . . . . 中山 淳・他 89

[目標共有を取り入れた作業療法と触圧覚識別課題の併用効果](#)

—身体知覚異常を呈する全人工膝関節置換術後症例—  
. . . . . 田中 陽一・他 95

読み書きが困難な学習障害児への書字を中心としたリハビリテーションアプローチ

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・大西 正二・他 102

上肢機能の変化に伴い3D プリンタで作製した自助具の変更が日常生活における麻痺手の習慣的使用を促した回復期脳梗塞患者の一例

—症例報告—・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・宇都宮 裕人・他 112

◆**短報**

ハンドル形電動車椅子の操作技能に関する定量的評価手法の開発

—走行中の観察評価とドライブレコーダの操作ログ解析から—

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・竹嶋 理恵・他 119

## 編集後記

▶毎回のことだが、『作業療法』が発行されるたびに心がワクワクする。新しい知見に触れることは、実に楽しい。今回の第42巻第1号は、原著論文8本、実践報告4本、短報1本で構成されている。数年前に比べると、作業療法が対象とする範囲は大きく広がり、研究手法も多様で、内容がユニークだ。これらの研究に倣うと、こんな研究ができるのではという発想も湧いてくる。気が早いが、『作業療法』ファンとして次号が楽しみである。

(T・K)

▶私事ではありますが、本年3月をもちまして編集委員長を退任いたします。6年間、皆様には『作業療法』へのご投稿や編集に関しまして、深いご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございました。任期におきましては、J-STAGE（科学技術情報発信・流通総合システム）による電子公開を開始し、作業療法の成果を関連職種や一般に、広く迅速に周知することが可能となりました。また、論文投稿システム（Editorial Manager）の導入とともに、第一査読者、第二査読者を増員し、編集委員が論文担当エディターとなる3名の査読体制としました。その結果、多くの論文を受け付ける「量」の充実と、学術誌としての「質」を保証する土台を作ることができました。新たな体制での『作業療法』の発展を祈念しつつ、投稿者として寄与できるよう精進したいと思います。

(N・S)